

	<p>愛知県</p> <p> あま市</p> <p></p> <p>AMA CITY</p>	<p>●【データ】 令和6年3月1日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人 口:88,632 人 ・世帯数:38,966 世帯 ・面 積:27.49km² ・市の花:ゆり ・市の木:ハナミズキ ・特産物:尾張七宝、刷毛刷子、方領大根、小松菜など ・担当:子ども健康部 健康推進課 ・電話:(052)443-0005
<p>市長 村上 浩司</p>		

●あま市の紹介

あま市は濃尾平野南東部にあり、ほぼ全域が海拔ゼロメートル地帯となっています。広大な平坦地に河川・水路が広がり、田園風景など自然景観に恵まれています。

市内からは弥生時代中期の遺跡も発掘されているほか、甚目寺観音（鳳凰山甚目寺）や、漬物まつり（香の物祭）で知られる萱津神社など古くからの社寺歴史的資源を多く有し、国・県・市指定文化財が合計 35 件あり、蜂須賀小六、福島正則など、戦国時代に活躍した武将を数多く輩出しています。

あま市は旧七宝町、旧美和町、旧甚目寺町の 3 町が合併し 15 年目を迎えました。昨年 5 月には新庁舎が開庁し、防災や行政機能の拠点だけではなく、市民活動が日常的にできる場を設け、市民同士の交流を促す機能も備えました。

また、今年、国の伝統的工芸品に指定されており、市の伝統産業である「尾張七宝」（七宝焼）の展示や製作体験ができる施設の七宝焼アートヴィレッジが開設して 20 周年を迎える節目の年でもあり、年間を通じてさまざまなイベントや企画を予定しております。



あま市役所新庁舎



七宝焼アートヴィレッジ

●健康都市の取り組み

市のまちづくりの指針としまして、「コロナ禍をともに乗り越え、あま市の未来をともに創る！」という基本理念をおき、次の 6 項目を基本方針として掲げています。

①「安全と安心が確保された都市基盤の整備と生活環境の向上」、②『「人生100年時代」に備える健康づくりの支援と充実ー70歳からも楽しめるまちにー』、③「子育て支援のいっそうの強化・充実」、④『「住み続けたいまち」から『働きながら暮らせるまち』へ』、⑤「時代に対応した持続可能な行政経営を推進」、⑥「交流と連携により、まちの賑わいと活力の創出」を軸とし、各事業を展開しています。

【パパママ教室】

あま市では、妊娠中の妊婦、パートナーを対象にパパママ教室を開催しています。

妊娠・分娩・育児に関する知識の習得により妊娠中の不安を和らげることや、地域での仲間作りの場としています。

教室の内容としては、助産師による講話、妊婦ジャケットを用いた妊婦体験、赤ちゃん人形や実際のオムツや着替えを用いた沐浴体験、教室参加者同士の交流会を実施しています。

現在は核家族化が進み、出産後の育児のイメージがつかないまま妊娠、出産にいたる方が多くいます。そのため、出産前に少しでも小さい子どもとの関わり方のイメージをつけてもらいたいという思いか



ら、令和5年度より子育て支援センターの見学を教室内容に取り入れました。

親子手遊びを一緒に実施し、支援センターを利用する親子にインタビューを行いました。遊んでいる児の様子をみて、「可愛いね」「こんなこともできるんだね」と話している様子がみられたり、利用者から「子どもと自宅にいるより、

支援センターに来ることで先生に話すことができ、気分が晴れた」、「産後に利用してみたい」という方もあり、産後の母子支援の場を紹介できる機会にもなっています。

【10020表彰】

いつまでも健康でおいしく食事をとることで、生涯を通じて自分らしく豊かな人生を送れるよう、高齢者に対し行っている施策の一つとして、100歳以上で20本以上歯のある方の表彰を平成30年度より実施しています。

毎年、100歳以上の方へ調査票を郵送し、歯の本数等を確認しています。過去5年間で、男性1名、女性3名の方が対象となりました。受賞者の元気な姿を広報やウェブサイトで紹介することで、市民の歯と口腔の健康意識を高める機会としています。

